

生乳増産によって価格は低下に転じたものの、乳製品価格は比較的安定

欧州委員会「牛乳乳製品市場観測サイト」2026年3月会合報告より

欧州委員会が開設している「牛乳乳製品市場観測サイト(Milk Market Observatory = MMO)」の、経済委員会3月会合がビデオ会議方式で開かれた。同会合の報告書(*1)では、欧州連合(EU)の牛乳乳製品市場の近況として、①2025年の生乳生産量は前年に比べて1.7%増加したが、1月も増加を続けていること、②2025年の平均生乳取引価格は1キロ当たり52.5ユーロセントとなり、過去最高を記録したものの、2025年10月から下落傾向にあり、2026年1月にはこの5年間平均を2.8%下回っていること、③直近の平均乳製品価格は粉乳とホエイ製品を除き低下していること、などを報告している。また、2025年の国際市況についても、主要輸出国・地域では生乳生産は再び増加に転じ、世界全体の乳製品貿易量も増加していることを報告している。EUでは生乳価格は低下傾向にあるものの、食料インフレが続いている。生乳供給量が増加し、価格調整が進行中であるにもかかわらず、乳製品市場は、粉乳価格の上昇と堅調な世界的需要に支えられて、安定の兆しを見せている。また、地政学的紛争によって、供給や物流に混乱が続いているとしている。以下に報告書の要約を紹介する。(読みやすさを考慮し、Jミルクで小見出しなどを補った。)

MMO 経済委員会の第55回会合は、2026年3月27日に、ミルクサプライチェーンを構成する以下の組織の専門家が参加して、ビデオ会議で開催された。

- COPA-COGECA (欧州農業組織委員会・農業協同組合委員会:生産者を代表)
- EMB (欧州ミルクボード)
- EDA (欧州乳業協会:乳業者を代表)
- Eucolait (欧州乳製品輸出入・販売業者連合:乳製品貿易を代表)
- Eurocommerce (欧州商工会:小売業を代表)

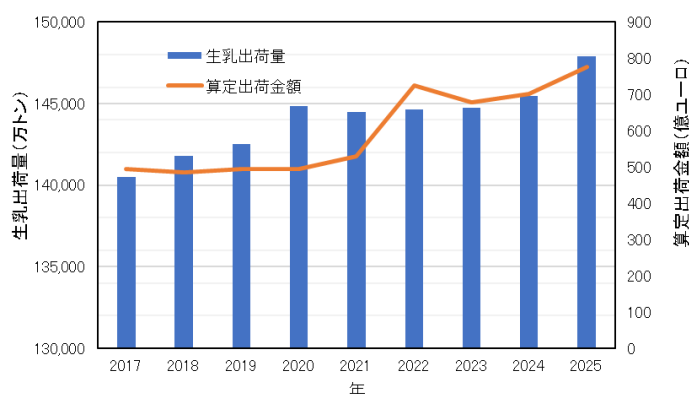
会合での情勢報告と情報交換では、次の点が強調された。

EUの2025年の生乳生産量はわずかに増加し、2026年1月も増加を継続

EUの2025年の牛の生乳生産量は前年よりも1.7%とわずかに減少した(閏年調整済)。2026年1月の生乳生産量も前年同期に比べて

5%増加し、増加が継続している。1月増加分の60%をドイツとフランスが占めている。2025年は約1億4800万トンの生乳が集荷され、算定出荷金額は約776億ユーロを超え、前年同期に比べて10.4%増加した(図1)。

図1: EUの1~12月の生乳出荷量と算定出荷金額



ルクセンブルクの数値は非公開のため、含まれていない。

出典: MMO economic board meeting report - 27 March 2026

(*1)を基にJミルク作成

出荷量は、ドイツ、フランス、オランダ、イタリア、ポーランド、アイルランドなどEU加盟国の

一部の主要酪農生産国で増加した。

2025年のEUの乳製品の生産量は、バター(+6.5%)、脱脂粉乳(+4.9%)、発酵乳(+2.1%)、チーズ(+2.0%)が増加し、全脂粉乳(-8.4%)、クリーム(-1.6%)、飲用乳(-0.8%)、練乳(-9.9%)は減少した。2026年1月は、脱脂粉乳(+21%)とバター(+8.4%)の生産量が大幅に増加した。

2025年のEUの平均生乳取引価格は過去最高を記録したが、2025年後半から下落

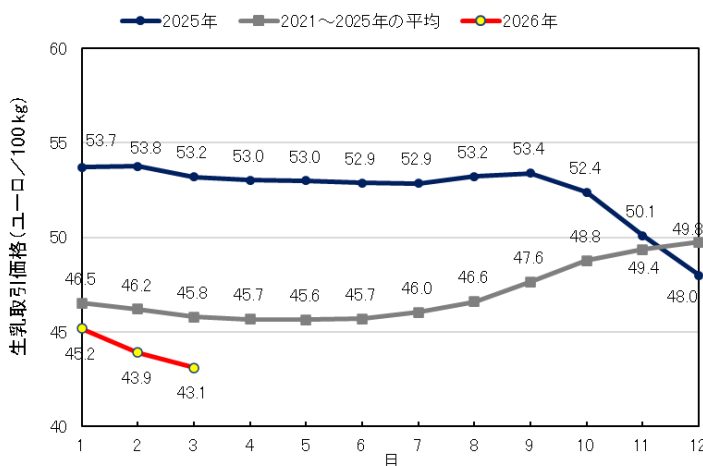
EUの平均庭先(牧場出荷)乳価は、2025年52.5ユーロセントと過去最高となっている。2025年10月から下落傾向にあり、2026年1

月にはこの5年間平均を2.8%下回っている(図2)。前年を上回ったのは、6か国のみであった。ベルギー、オランダ、リトアニア、アイルランド、デンマーク、ドイツの乳価は、前年同月比で22~30%下落した。

2026年1月に集荷された生乳の3.6%が有機で、その51%はデンマークとフランスで生産された。EUの有機生乳の平均価格は1キロ当たり62.4ユーロセントであった。

飼料コスト(穀物、菜種粕、大豆粕の混合物に基づく)は、過去三か月間は比較的安定しており、2025年1月の水準を8.7%下回っている。

図2: 生乳取引価格(EU加盟国平均)



出典: EU historical prices. Milk Market Observatory.

EUの直近の平均乳製品価格は粉乳とホエイパウダーは上昇しているが、他の乳製品は低下している

EUの平均乳製品価格(2026年3月22日)はチーズ(チェダー・エメンタール・ゴータ)を除いて前月よりも上昇した。しかし、脱脂粉乳(+26%)とホエイパウダー(+24%)は、2026年初めから大幅に上昇している(表)。

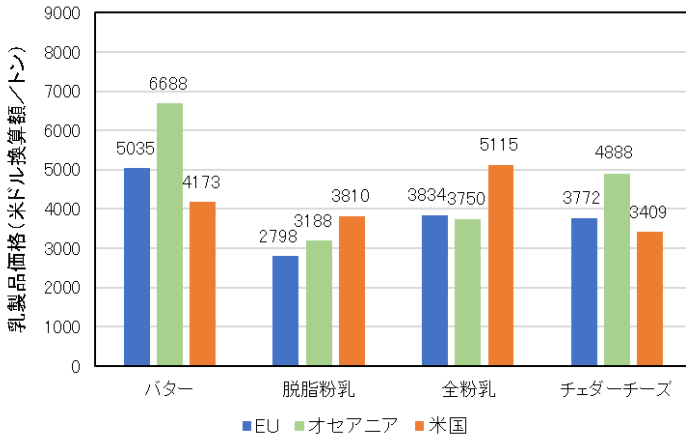
なお、三大輸出国・地域の中では、米国のバターとチェダー、EUの脱脂粉乳、オセアニアの全粉乳の価格が、最も低くなっている(図3)。

表: EU加盟国の平均乳製品価格(2026年3月22日)

	バター	脱脂粉乳	全粉乳	チーズ				ホエイパウダー
				チェダー	エダム	ゴータ	エメンタール	
価格(ユーロ/100キロ)	437	260	340	326	372	383	544	132
価格の比較(増減%)								
1週間前	0.7%	2.6%	-1.1%	-1.3%	1.2%	-0.1%	-3.5%	14.4%
1か月前	4.6%	9.5%	5.8%	-2.6%	3.4%	-1.4%	-2.3%	15.7%
2026年初	-0.7%	25.5%	8.3%	-13.2%	-2.8%	-7.6%	-5.6%	24.1%
1年前	-40.9%	2.9%	-22.4%	-30.5%	-23.8%	-22.0%	-12.5%	28.4%
5年間の平均	-21.9%	-6.0%	-12.1%	-20.2%	-11.2%	-10.2%	-3.8%	35.9%

出典: MMO economic board meeting report - 27 March 2026 (*1)を基にJミルク作成

図3: 世界の乳製品相場 (2026年3月15日)



出典: MMO economic board meeting report - 27 March 2026
(*1)を基にJミルク作成

供給(国内生産量+輸入量)から需要(国内消費量+輸出量)を差し引いた残余乳製品量に基づくEU在庫レベルの評価では、脱脂粉乳在庫量(17万トン)は、生産量の大幅増加にも関わらず前年からの増加はわずかなものだった。バター在庫量(22.5万トン)は、生産の増加によって、前年よりも増加した。チーズの在庫量(44万トン)は、2025年第1四半期以来増加してきたが、2025年12月に減少に転じている。

世界の輸出国の大部分で生乳生産量が増加

世界の2025年の生乳生産量は増加を記録した。EUの大部分の乳生産国は、高い利益率、良好な気象条件、分娩時期の後ろ倒しの影響で、増加の勢いをみせている。7月までに、アルゼンチン(+9.9%)、ウルグアイ(+8.7%)、ニュージーランド(+1.8%)、米国(+2.5%)、英国(+5.2%)で集乳量が増加した。一方、オーストラリアでのみ集乳量が2.1%減少した。

世界の2025年の乳製品輸出量は、2%増

加した。主にバターとチーズの輸出の増加によるものである。三大輸出国・地域(EU、ニュージーランド、米国)は総輸出のシェアを維持した。EU全体の乳製品輸出は、2025年に2%増加し、特に第4四半期に増加した。

2025年のEUの乳製品輸出先の上位5か国は、英国、中国、米国、アルジェニア、インドネシアであり、シェアは40%を占めた。EUからの輸出増加率が最も高かったのはベトナム(+25%)、サウジアラビア(+23%)、マレーシア(+21%)であり、減少率が最も高かったのはアルジェリア(-19%)とタイ(-3%)であった。

中国の乳製品輸入量は、6%増加した。世界の主要乳製品輸入国の上位5か国は、中国、メキシコ、インドネシア、アルジェリア、英国で、シェア41%を占めた。MENA(中東・北アフリカ地域)と東南アジアは、国際価格の下落を利用して、第4四半期に輸入を増加させた。EUの輸入は2025年に大幅に増加し、特にニュージーランド、英国、ウクライナ、米国からの輸入が増加している。

地政学的緊張感の影響

地政学的緊張が続く中、家計の信頼感は低下しており、消費者の多くが購買力の低下を感じている。乳製品の小売売上高は、金額では増加しているが、数量では停滞している。価格は依然として消費者の食品選択に影響を及ぼす主要な要因であり、有機乳製品は、引き続き価格面の課題に直面している。

Eucolaitは、中東紛争が供給の混乱と物流の問題の継続などの乳製品貿易に及ぼす主な影響を提示した。2025年後半に価格が下落したため、出荷の前倒しが行われたが、乳製品の輸入に依存している地域では在庫が枯渇している。紛争地域からの外国人居住者

の出国に伴い、高級品の需要が弱まっている。エネルギーコストの上昇は製造コストを上昇させ、EU の需要に影響を与える可能性がある。一方、輸送コストの上昇にもかかわらず、代替ルートが出現しているため、輸出の影響は管理可能という見方もある。

EU 委員会は、短期的な見通しについて、生乳供給量は、第1四半期の大幅な増加と下半期の減少により、2026年にはわずかに増加する可能性があるとしている。チーズとホエイ製品に対する世界的な強い需要は、EU の輸出を増加させる原動力となる。バターと脱脂粉乳の生産は、2025年の例外的な増加の後、2026年も安定した状態が続くと予測される。

生乳供給が増加し、価格調整が進行中であるにもかかわらず、乳製品市場は、粉乳価格の上昇と堅調な世界的需要に支えられて安定の兆しを見せている。しかし、中東における紛争は、乳製品市場と貿易の流れに永続的な影響を及ぼす可能性がある。

参考資料:

(*1)https://agriculture.ec.europa.eu/document/download/a8ba30c6-253c-4a73-bb42-5c057cbddc3e_en?filename=milk-market-situation-factsheet_en.pdf

MMO economic board meeting report - 27
March 2026. European Commission.

(資料閲覧:2026年3月)

(担当:Jミルク 国際グループ)